



学校だより

令和6年4月8日
横浜市立仏向小学校

4月号

「はじめて」の喜び

校長 大嶋 智子



昨年12月に植樹した校庭の小さなサクラに、可愛らしい花びらが次々と開き始めました。つぼみの膨らみを見るまでは、“極寒期のこんな固い土の中に根を広げることができるのか”と、心配でたまりませんでした。環境委員会の児童をはじめ私自身もバケツで水を運んでは、“無事に育ててくれ”と願いながらその根元に水を含ませたものでした。自分たちが植えた桜の開花は、仏向小の子どもたちの成長や願いと重なり、はじめての開花を見る喜びも格別です。



昨年より17日も開花が遅かった桜の花が、子どもたちの入学式や始業式を祝うかのように咲き誇っています。満開期がこれほど式にピッタリ合う年はなかなかありません。令和6年度に創立60周年を迎える仏向小学校です。どこかスペシャル感を感じます。子どもたちの小さな発見、小さな成長にも、喜びと感動の笑顔を仲間と重ね合わせていく・・・そんな令和6年度の仏向小学校にしていきたいと思っています。

ご入学・ご進級おめでとうございます！

【校歌2番】

若鷹 子鷹 とんでいこう 鷹の子どうして とんでいこう
学んで 遊んで せーい せーい つばさをやすめず とんでいこう
ユーカリしげる 仏向の希望の丘から とんでいこう

仏向小学校校歌



本校校歌の由来です。

子どもたちに親しまれる校歌にしたいと、作詞作曲の山田、小瀬両氏の願いから、明るくリズムカルで、声高らかに歌える斬新な曲想に練り上げられました。いつどこでも歌える校歌として、昭和43年3月にできあがりました。(学校沿革史、創立50周年記念誌より)

「当時体育館ができず、円形校舎の真ん中のホールでぼくたちの卒業式は行われたのです。この時に今の校歌をみんなで大きな声で初めて歌った思い出は、今でもとても懐かしいものです。」(創立30周年記念誌「第3回卒業生のお話から」抜粋)



令和6年度の「学校だより 巻頭」では、子ども達の様子と、仏向小学校60年の移り変わりを保護者・地域の皆様に発信していきたいと考えています。

ご意見や情報がありましたら是非お聞かせください。

今年度もどうぞよろしくお願いたします。